

SDGsに貢献している東海会会員紹介



SDGsの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」、目標8「働きがいも経済成長も」、目標11「住み続けられるまちづくりを」に貢献しています。



日時：2024年1月15日(月) 14:00～15:30

場所：クロスコートタワー11階 東海会事務局

対象者：美辺 香澄さん

インタビュワー：柘植副会長

報告者：広報委員会 委員 和田 康兵 長尾 悠太

第三弾として今回ご紹介させていただきます美辺さんは、監査法人での勤務の後、結婚・出産を経て託児事業を運営する美辺株式会社を設立された女性会計士です。

監査法人退職後も非常勤にて監査業務を継続されています。ご自分の苦勞した経験から「自分が使いたい託児所」を作りあげたというところが素晴らしいと感じました。3人の子育てをしながら、とてもパワフルに活動されている美辺さんに今回はインタビューさせていただきました。



美辺 香澄さん

〔美辺香澄さん プロフィール〕

公認会計士・保育士

2009年 同志社大学在学中に公認会計士試験に合格。

2010年 大学卒業。あらた監査法人（現PwC Japan 有限責任監査法人）入所。主に製造会社での会計監査業務を担当。

2013年 結婚を機に退職。起業のためビジネスプランを考え始める。

2014年 第一子出産後、監査法人の非常勤職員として職場復帰。

2016年 美辺株式会社設立、「はないと」開園。

2017年 保育士資格取得。

〔美辺さんの経歴〕

柘植さん：まず、今までのご経歴と美辺株式会社を設立したきっかけを教えてください。

美辺さん：幼少期に、父と地図を見ながら「美辺」姓は珍しい苗字であることを教わりました。

しかし、結婚すると苗字が変わり、「美辺」姓がなくなってしまうと思い、この苗字をどうにか残せないかと考えていました。その選択肢の一つとして、会社を設立したいと考えるようになりました。

大学受験で進路を選択する際に、将来会社を作りたくて両親に伝えたところ、どのような会社を設立したいのかと聞かれ、そこまで具体的に考えていなかったことに気がきました。

当時、製造業の会社で工場長をしていた父が女性公認会計士と会う機会があり、その会計士の仕事ぶりから、公認会計士業界は女性も活躍している業界であること、その後の将来にも役に立つことを教わったことがきっかけとなって公認会計士を目指すことにしました。

2009年に試験に合格、大学卒業後にあらた監査法人（現 PwC Japan 有限責任監査法人）（以下、あらた）に就職しました。

あらたでは製造業の会社を中心に監査を行いました。監査業務はとても楽しく、働きたかったのですが、現在の夫と出会い、結婚を早くしたいという思いが強くなり、あらたは3年弱で退職することになりました。その後、2013年12月に結婚、2014年10月に第一子を出産しました。子どもが1歳を迎え、手が空くようになったこともあり、起業に向けてビジネスプランを考えるようになりました。

柘植さん：監査を続けたいと思いつつ、託児所の少なさ等思うところがあったと伺っています。どのようにしてご自身で託児所を運営する会社を設立するに至ったのでしょうか。

美辺さん：監査法人を退職してから半年間はいろいろな人にお話を聞きながら事業構想を練っていました。この時には託児所を設立することは考えていませんでしたが、私自身が、その時育児の最中であり、託児所の少なさ困っていました。そこで、自分が利用したいと思える託児所を作るのがいいのではないかと考え、託児事業の会社を設立することに決めました。

その後、2015年10月から1か月半ほど事業計画を策定、2016年2月に会社設立、同年4月に「一時お預かり専用託児所 はないと」を開園しました。



一時お預かり専用託児所
はないと



はないとに関する詳細は
こちらからご覧いただけます



一時お預かり専用託児所 専業主婦内食専用
はないと いちりん



美辺株式会社に関する詳細は
こちらからご覧いただけます

【「はないと」の特徴】

柘植さん：「一時お預かり専用託児所 はないと」の特徴を教えてください。

美辺さん：「はないと」は「安心」「安全」「広い」「美味しい」「便利」という5つの指針をもとに運営しています。また、前提のコンセプトとして、「自分が利用したい託児所」であるため、他の託児所では無いような、あらゆるサービスを備えています。例えば、通常はベビーカーの預かりはできない託児所が多いですが、「はないと」ではベビーカーを含む育児関連の荷物を預けることができます。これにより、子どもを預けた保護者の方は、身軽に買い物や仕事に向かうことができます。また、てぶらほいく®を導入し、おむつや着替えを含む保育用品は園内に用意しているので、持ち物なしで利用できます。

事業構想時の料金形態は、融資をお願いしていた金融公庫の「高すぎる」という助言を受け、近隣の料金体系を考慮した結果、時間単価を300円安く設定しました。しかし、実際に事業を進める中で、想定していなかったいろいろなニーズへの対応とともに値上げを実施しました。現在では開園当初の倍近い料金形態となっています。

柘植さん：差別化されたサービスに対応した値上げは自然だと思いますが、それでも利用する方は多いのですね。

美辺さん：値上げができた理由としては、予約がすぐ埋まってしまったということもありますが、利用者の方から「安すぎる」と言われたことも理由のひとつです。

「はないと」では、託児理由を限定していないため、様々な方にご利用いただいています。

平日の日中に利用する方は、兄弟の行事参加や通院(歯医者、不妊治療など)、専門学校への通学、就職面接、友人とのランチなど、様々な理由で利用されます。

一方で、土日の日中に利用される方は、保育園等が休みの場合が多いため、土日に仕事があっても他に預けられるところがないという方がほとんどです。

「はないと」は年末年始を除き毎日8時から22時まで開園しているため、幅広い需要を満たすことができます。

県外からの出張での利用や旅行で一時的に預けたいという方の利用もあります。

また、「はないと」では給食の提供も行っています。一般的に託児所では仕出し給食を行っているところが多いですが、「はないと」ではすべての食事を専属管理栄養士が献立を作成し、専属スタッフが自園で調理しております。これによりアレルギーや離乳食に対しても個別に対応することが可能となっています。





柘植さん：託児事業においては保育士が重要であると思いますが、保育士さんの質はどうやって保っていますか？

美辺さん：託児所の質は様々ですが、質が低い託児所では、保育士の有資格者が異常に少ないことが理由の一つとして考えられます。配置基準上は1/3が保育士であればよいため、最低限の人数しか配置していない場合があります。

一方で「はないと」では、全員が保育士の有資格者であり、無資格者の採用は行っていません。

【女性活躍促進について】

柘植さん：公認会計士業界の女性活躍推進への考えを教えてください。

美辺さん：私自身、監査という仕事はとても好きですし、女性が就く職業として公認会計士は非常に良い資格だと思っています。

柘植さん：今では、時短勤務やリモート勤務など監査法人での働き方も随分変わってきており、女性が働き続けられる環境もだいぶ整ってきていますよね。

美辺さん：そうなんです。反対に経営者目線として、例えば、託児事業において保育士の方の育児の支援制度を整備していますが、ベテランの保育士の方から、いつまでもその支援制度を享受して、新しい保育士の方の枠を埋めているのではないかとといった相談を受けることがあります。確かに、現役子育て世代の保育士の方は託児所を利用する親と同じ目線で話すことができるというメリットもありますが、ベテランの保育士の方にも活躍してほしいという思いもあり、経営者としてすぐに答えを出すのが難しい問題でもあります。

柘植さん：経営者目線のお話ですと、監査法人としても、女性にも管理職になってほしい思いはあると思います。そのため、どの法人も個人のキャリアプランに合わせた働き方ができるような制度は整えてきていると思います。

【今後の抱負】

美辺さん：身近なこととしては、保育事業において「はないと」の立地をより名古屋駅に近づけたいと考えています。また、保育士の方々は、自身の育児が落ち着いた後のキャリアを気にしているため、育児後も続けられ、定年まで勤められる会社にしないといけないとも考えています。そのためには、まず給与を上げ、事業を拡大していきたいと考えています。

また、もともとは会社を上場させたいという思いもあったため、今後の事業についても検討を重ねています。事業の目的としても、事業利益という意味でも現在の保育事業で上場を目指すべきではないかなと考えているので、他の事業を立ち上げ、上場を目指したいなという思いもあります。

【終わりに】

本当に監査が好きだと何度もおっしゃっていたことがとても印象的でした。しかし、それだけに拘らず、結婚・出産を経ても次々と自分のやりたいことを実現していこうとするととてもパワフルな女性だなと感心しました。

これからも生き生きと新しいことにチャレンジしていかれるのを楽しみにしています。他の女性会計士の方達にもとても良い刺激となったのではないのでしょうか。



美辺さん、和田さん、柘植さん、長尾さん